



ぎんなん

令和4年12月21日
校長 原文也
児童数 474名

学校教育目標「未来を拓く子どもを育てる三瀨小の全人教育」

持久走記録会も「かわり合い高め合う」

12月1日(木)、持久走記録会を実施しました。学年ごとに時間を決めて[1・2年生(3分間)、3年生(4分間)、4年生(5分間)、5・6年生(6分間)]運動場を走り、走った距離を記録する、タイム走で行いました。記録会に向けて、子どもたちは、中休みの持久走タイムや体育の時間に、それぞれのめあての達成や記録の向上をめざして練習を積み重ねてきました。放課後や休日、自主的に走って練習をしていた子どももいました。

そして、記録会当日。2校時1・6年生、3校時2・5年生、4校時3・4年生の順に実施しました。どの学年の子どもたちも、自己記録の更新をめざして、どんなにきつくても最後まで走り通そうと、真剣な表情で歯を食いしばって走っていました。走り終わった後、自分の力を出し切って、顔をゆがめながらも満足感に浸っている子どもたちの姿がとても印象的でした。また、走っている友達を心の底から応援し、励ましている子ども、走り終わった友達や下級生に「〇周と〇だったよ。とても頑張ったね。」と温かい声をかけている子どもの姿もたくさん見られました。今年の本校の合言葉「かわり合い高め合う」を子ども一人一人が実践している持久走記録会でした。また、保護者の方々の拍手や身振りによる温かい応援が、子どもたちの背中をととても後押ししてくれました。応援、ありがとうございます。

私は、何事においても、「結果は大切。しかし、結果よりも過程がもっと大切。」だと思っています。しかし、子どもたちは、「今まで一番長く走れてよかった。」「前よりも記録がよくなかった。」など、どうしても結果だけを気にしがちです。「自分の最高記録を出せてよかった。持久走タイムや体育の時間に、一生懸命頑張って走ったから記録を出すことができたんだ。」「今日はあまり記録がよくなかった。でも、今まで頑張って練習してきたんだ。次はもっと頑張るぞ。」など、子どもたちが、結果に至るまでの過程をきちんと評価できるようにするためには、私たち大人の声かけや意識づけが必要です。子ども自身が、過程をふり返し、自分のよさ(不十分さ)を実感し、次の活動意欲へつなげていくことが私たちの役割だと思っています。学校・家庭・地域が心を一にして、過程を大切にする子どもたちを育てていきましょう。引き続き、保護者の皆様や地域の皆様のご協力をよろしく願います。



お知らせ

- 前号の「ぎんなん」No.8でお知らせしましたように、来年1月21日(土)に予定していました祖父母参観は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、やむなく中止することにしました。1月21日(土)は、学校がお休みとなりますので、23日(月)の振替休日がなくなり、登校日となります。お間違いのないようよろしくお願いします。
- 冬休み期間中[12月24日(土)～1月9日(祝・月)]は、お子さんに新型コロナウイルスへの感染が確認されても、学校への連絡は必要ありません。

久留米市小・中学校PTA合同研修会

11月23日(祝・水)の午後、久留米シティプラザにて、久留米市小・中学校PTA合同研修会が開催されました。この研修会は、ともに未来を創る「くるめっ子」の育成に向けて、PTA活動に関する研修を行い、PTA活動の活性化を図る会員としての資質向上をめざすことを目的として開かれています。市内3つの学校の実践発表やパネルディスカッション形式による意見交換が行われました。



本校は、「子どもの健全育成と家庭教育」をテーマとした実践発表でした。「チーム三潁(学校・家庭・地域)心一つにして乗り越えよう子どもたちのために」と題して、PTA会長の井上さん、副会長の山田さん、番場さんが、発表者や司会者、記録者として登壇されました。子どもたちの学校生活をよりよいものにするためのPTA活動の取り組みとして、資源回収や成人教育講演会、あいさつ運動、汽車ポッポ元気塾などについて発表されました。子どもたちのために、コロナ禍でもできることをできる方法で行ってきたいという思いで、知恵を出し合いながら、工夫して取り組んでいるという内容でした。

また、その後のパネルディスカッションには、副会長の畠山さんがパネリストのひとりとして参加されました。司会者やフロアの方からの質問に対し、本校のPTA活動の特徴的な取り組みについて具体的に答えられるなどして、見事なパフォーマンスを発揮されていました。

この日の発表に向けて、本年度当初からPTA役員さんを中心に何度も話し合いを重ねられてきました。市内の様々な小・中学校が、本校の取り組みを参考にされることだと思えます。他校のPTA活動に生かすことができる素晴らしい発表でした。発表に携われたPTA会員の皆様、本当におつかれ様でした。

久留米市より次年度の学童保育所入所申し込み受付期間のお知らせ

久留米市より、令和5年度の学童保育所入所申し込みの受付期間の案内がありましたのでお知らせします。なお、手続きなどに関する問い合わせについては、久留米市子ども政策課(TEL.0942-30-9227)までお願いします。

【申し込み受付期間】令和5年1月4日(水)～1月20日(金)

2学期も保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力ありがとうございました

2学期の登校日も残りわずかですが、今年も10日を残すだけとなりました。2学期は、運動会やぎんなんフェスタ、持久走記録会など、子どもたちが目標(めあて)を持って、長期間、準備や練習に取り組む行事が続きました。その都度、子どもたちが、目標達成に向けて一生懸命張り、一つ一つの行事が終わるたびに自分たちをふり返り、日々の学校生活や次の行事に生かすことができるようにしてきました。そうすることで、この2学期、子どもたちは、かわり合い高め合いながらずいぶん成長しています。実り多き2学期でした。これもひとえに、実に様々な面でご支援、ご協力をいただきました保護者の皆様や地域の皆様のおかげです。ありがとうございました。

3年ぶりに行動制限のない年末年始を迎えますが、依然として、新型コロナウイルスの感染拡大は続いています。必要な場面でのマスク着用、手洗い、手指消毒、3密(密接・密集・密閉)の回避など、基本的な感染防止対策に努められ、お過ごしください。

また、年末年始は、どうしても子どもたちの生活が不規則になりがちです。ご家庭では、「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけ、子どもたちが規則正しく生活することができますよう、よろしくお祈りします。それぞれの地域におかれましては、子どもたちの安全・安心のために、引き続きの見守りをよろしくお祈りします。

これから、本格的な冬の訪れとともに、ますます寒さが厳しくなってきます。皆様ご自身の健康にも十分お気をつけいただき、くれぐれもご自愛ください。